

伊藤雅俊を偲ぶ

伊藤雅俊名誉会長をよく知る方々より、ありし日の思い出とともに追悼のお言葉をいただきました。

イオン株式会社 名誉会長相談役 **岡田卓也氏**

小売業の近代化・産業化を目指し新興勢力スーパーが頭角を現したのは1960年代のことでした。我こそは覇者たらんと全国各地は群雄割拠となる中でも、伊藤さんとは会った瞬間に心が通じ合う気がしました。控えめで真つ正直な伊藤さんは良きライバルであると同時に唯一無二の友人となり、ジャスコ設立時には監査役をお引き受けいただくほどの仲でした。伊藤さんとの思い出は箱根ゼミ、アメリカの流通業視察など数えればきりがなく濃密な時間をともに過ごすことができました。本年1月、清水信次※さんのお別れの会でお会いしたのが最後となりました。その時の写真が私のデスクにあります。伊藤さんは、以前と変わらぬ温厚な微笑みを投げかけてくれます。伊藤さん、あなたがいなくなつて本当に寂しい。どうか安らかに眠りください。



※株式会社ライフコーポレーション創業者

株式会社KKRジャパン 会長 (元 野村證券株式会社 代表取締役副社長) **斉藤惇氏**

伊藤さんとのご縁はニューヨークでのファインダンスのお手伝いやIR活動に同行させていただくことから始まりました。「商売は理屈ではなく感性だよ」と言いながらも謙虚にアナリストらの意見を聞いておられたのには驚きを超えて凄さを感じました。来米時にはいつもダンボールにウナギのかば焼きや、のりにお茶、さらには子供たちのために駄菓子などを運んでくださいました。お礼を申し上げると「私だって昨日まで前垂れかけて店先に立っていたのだからね」とニコニコしておられた姿が目には浮かびます。時間さえあれば多くのスーパーマーケットを訪れて陳列されている商品を手で触りながら照明の当て方やバックミュージックなどまで調べあげておられた姿にはいつも頭が下がる思いでした。どうか安らかに眠りください。



※斉藤氏は写真左

「信頼と誠実」を 人生の指針に

ヨークベニマル会長 **大高善興**

2023年は、イトーヨーカ堂と当社が提携して50年になります。その間いつも伊藤名誉会長の「商いのこころ」が我々のもとにありました。「会社は大きくなると初心を忘れてしまう。常に感謝の心、お蔭さまの心を忘れず、基本を徹底せよ。現場に行き、実践実行の姿を従業員に伝えよ。試練や困難こそが会社を成長させるのだ」と教えてくださいました。多くの従業員と店舗が被災した東日本大震災という未曾有の危機に直面した時にも、毎日5時に電話をくれ、一人のお客様に誠実を尽くせば、未来はきっと明るいとお励まし続けてくれたのです。2カ月後、9割以上の店舗が再開できたことを報告した際、涙を流し喜んでくれた姿は忘れることができません。

また、商売の先達である伊藤名誉会長は、人生の師であり、父のような存在でもありました。時には個性の強い私たち兄弟4人を自宅に招いて叱咤激

励し、私の父母の墓参りを毎年欠かさず、「君を成長させて、ご両親に『よくやってくれたね』と言ってもらうのが生きがいだ」とおっしゃっていました。今頃、両親は、伊藤名誉会長に心からの感謝を伝えていることと思います。私もいつの日か伊藤名誉会長に会った時に「ご苦労さん」と言ってもらえるよう、これからも「信頼と誠実」の教えを伝承し、実践に努め、謙虚に学んでいきたいと思っています。伊藤名誉会長との出会いがあって、今日のヨークベニマルがあります。ご冥福を心よりお祈りいたします。



信頼し、挑戦を後押しし てくれた伊藤名誉会長へ、 最大の感謝を

セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問 **鈴木敏文**

伊藤名誉会長は、とても真面目なお人柄で、「信頼と誠実」の精神を大事にされてきました。誠実な商売と、厳しく公私のけじめをつけた伊藤名誉会長ならではの経営で、家業を企業へ、そして流通グループへと育成されました。顧みれば1980年代の業務改革、90年代の米国サウスランド社(現Seven, Inc.)の再建支援など、納得すれば信頼して全部任せる、そういう判断をいただけたからこそ、私は積極的に進言や提案ができました。伊藤名誉会長の決断がなければ、今日のセブン・イレブン・ジャパンも当社グループもなかったでしょう。

私は、人生はすべてそれぞれの立場でその都度挑戦していくことが重要だと思っています。私が思い切った仕事と数々の挑戦ができたのは、伊藤名誉会長に、おおらかに包んでいただき、

そして背中を押していただいたからこそです。グループ変革の転機につながる大きな仕事を伊藤名誉会長のもとで進められたことは、私にとって大変幸運なことでした。伊藤名誉会長、長い間ありがとうございました。心より感謝を申し上げます。ご冥福をお祈りします。

